

大間原子力発電所

地震・津波関係に係る検討状況及び今後の工程について

2022年7月1日

電源開発株式会社

地震・津波関係に係る検討状況について

「審査資料の品質確保策の改善」の審議終了後、「敷地地質」に次いで「地震動」を優先し、「津波」についても並行して説明予定。

■ 品質保証

- 「審査資料の品質確保策の改善」は、原因を深掘りのうえ、再発防止策を講じるとともに、これまでの手順・プロセスの有効性を検証済みであり、7月上旬に説明予定。

■ 敷地地質

- 「シームS-11・変状の評価方針」は、シームS-11の第三条への適合性の評価方針について、8月上旬に説明予定。

■ 地震動

- 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」のうち「内陸地殻内地震」は、これまでの審議動向を考慮し「F-14断層」及び「奥尻3連動」の地震動評価を8月中旬、「隆起再現断層」の地震動評価方針を9月上旬に説明予定。
 - 「F-14断層」は、基本ケースの考え方を整理し、それにより生じた解析を実施済み。
 - 「奥尻3連動」は、破壊開始点の設定の考え方の整理・分析を実施済み。
 - 「隆起再現断層」は、地震動の評価シナリオ、及び震源モデルの設定の考え方に係る評価方針を策定済み。
- 「震源を特定せず策定する地震動」は、「内陸地殻内地震」の審議に続き説明予定。
 - 「全国共通に考慮すべき地震動」のうち「標準応答スペクトル」は、模擬地震波の代表波の選定根拠等について検討済み。
 - 「全国共通に考慮すべき地震動」のうち「留萌支庁南部地震」は、敷地の地盤物性に応じた留萌基盤波の補正方法について検討中。
 - 「地域性を考慮する地震動」については、検討対象地震の震源周辺と敷地周辺との類似性等について検討中。

■ 津波

- 「津波」は、「敷地地質」及び「地震動」の審議動向を見つつ説明予定。
 - 「地震による津波と地震以外の要因による津波の組合せ」は、第1027回審査会合（2022年1月28日）における東北電力(株)東通地点へのコメントを踏まえた同一波動場に係る検討も含め、組合せ対象ケースの抽出、解析・検討を実施済み。
 - 「基準津波策定」は、「地震による津波と地震以外の要因による津波の組合せ」の審議に続き説明予定。

以 上

地震・津波関係に係る今後の工程について

7月1日現在

審査項目	内容	2021年度						2022年度														
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			8月			9月			10月以降			
										上	中	下	上	中	下	上	中	下				
品質保証	審査資料の品質確保策の改善						★	▼														
	原因, 原因の深掘り						(4/22)	(5/12)														
	再発防止策																					
	手順・プロセスの検証																					
敷地地質	前回審査会合						★															
	シームS-11・変状						(4/22)															
地震動	F-14断層による地震の地震動評価						★							▼								
	基本ケースの考え方の整理, 及びそれに伴う解析						(3/18)															
	奥尻3連動による地震の地震動評価						★							▼								
	破壊開始点の設定の考え方の整理・分析						(3/18)															
	隆起再現断層による地震の地震動評価方針						★											▼			★	
	評価シナリオの策定及び震源モデルの検討						(11/5)															
	隆起再現断層による地震の地震動評価						★															
	解析・地震動評価						(11/5)															
特定せず	全国共通に考慮すべき地震動						★															
	標準応答スペクトルの模擬地震波の代表波の選定根拠等の検討						(3/18)															
	留萌基盤波の補正方法の検討																					
地域性を考慮する地震動	地域性を考慮する地震動						▼															
	検討対象地震の震源周辺と敷地周辺との類似性等の検討						(1/6)															
津波	地震性津波						★															
	組合せ	地震性津波と非地震性津波の組合せ						(12/24)														
		地震性津波と非地震性津波の組合せの検討 線形足し合せ方法の検討 (東通のコメントを踏まえた同一波動場に関わる追加検討)																				
基準津波	基準津波策定																					
	基準津波の選定																					

凡例		
▼ : ヒアリング	(▼: 実績)	
☆ : 審査会合	(★: 実績)	
— : 検討期間		

注) ヒアリング(▼)から審査会合(☆)までの期間は, 実績を考慮し1カ月程度を想定
ヒアリングの同時申込は2枠までを考慮

※: シームS-11・変状の評価については, 方針の審査結果を踏まえ工程へ反映予定